

【速報】「かわごえ環境フォーラム」開催報告

かわごえ環境ネットの1年の活動をまとめ、次への飛躍へつなげる今年のかわごえ環境フォーラムは、かわごえ環境ネット設立10周年記念事業として、2月19日(土)9:30~19:00に斬新な企画で開催しました。恒例の「環境活動報告会」とともに、新しい試みの「かわごえカフェ」で話し合いを深め、懇親会で10年の歴史を振り返った実りある一日でした。

午前の第1部「かわごえ環境活動報告会」に102名、午後の第2部「すみたい街 かわごえカフェ ~みんなで語ろう環境・福祉・観光など~」に92名、夜の第3部「設立10周年記念パーティー」に39名、延べ233名の方々にご参加いただきました。ご来場ありがとうございました。

終日行われる数々のイベントを移動せずにできる会場として、東洋大学の学生ホール食堂棟が利用でき、会はスムーズに進みました。

第1部「かわごえ環境活動報告会」



ふくはら子どもエコクラブの発表



みなみかぜの発表

スタッフは8時半から会場設営にあたり、160ページにわたる「かわごえ環境活動報告集」も揃い、9時半に小瀬理事長のあいさつで始まり、午前の第1部「環境活動報告会」では、9題の活動報告が行われました。

最初は、ふくはら子どもエコクラブの子供らが、活動の思いをあどけない口調で発表し、聴衆から拍手をもらいました。さらに、「いきいき田んぼ」の「みなみかぜ」や、主婦のエコ生活体験、大学生の発表など、多彩な活動が披露されました。ただ、時間が限られて質疑の時間がとれず、今後の検討課題となりました。

発表会場前には展示ブースが設けられ、5団体のポスター・実物展示が昼休みを中心に行われるとともに、本会で5月に発行を予定している『川越の自然』の寄付を受け付けました。

発表順序・発表題目・発表者

1. 『自然と農業に触れるエコ体験—ふくはら子どもエコクラブ活動報告2010—』 宮岡アイ子 [ふくはら子どもエコクラブ]
2. 『雑木林の観察を通して林の再生に取り組んで』 過昌司
3. 『田んぼ発 いきいき地域づくり —みなみかぜ いきいき田んぼの会のアルバム—』 後藤ゆかり [みなみかぜ]
4. 『温室効果ガス削減25% (90年比)、あなたの家庭は?』 松岡壽賀子 [ネットワーク"かけはし"川越]
5. 『地域活動を始めて』 三村正巳・小林久美 [小畔川の自然を考える会]
6. 『EMによる環境浄化活動』 上山巧・三重野義郎 [EMクリーンクラブ]
7. 『エコマネー使用期間拡大が環境イベントにもたらす影響・効果に関する研究—アースデイ・イン川越 立門前における社会実験—』 角田拓也・中口毅博 [芝浦工業大学]
8. 『まちづくりにおける情報システムの活用方法に関する研究』 中川邦昭・小瀬博之 [東洋大学]
9. 『東洋大学川越キャンパスにおける電力使用量の推移及び環境配慮行動の周知に関する研究』 木村偉至・小瀬博之 [東洋大学]

ポスター・実物展示団体

1. みなみかぜ
2. ネットワーク"かけはし"川越
3. EMクリーンクラブ
4. 東京電力(株)川越支社
5. 小畔川の自然を考える会

第2部「すみたい街 かわごえカフェ」

午後の第2部は、新しい試みの「かわごえカフェ」のために参加した、本会の会員以外の方が加わりました。

最初に、進行役の飯島希(ほまれ)さんが「持続可能な街とは」とのテーマで、すみたい街の

前提となる「持続可能性」についてやさしく解説しました。続いて、元高校教諭でパンフルート奏者の江藤善章さんによる講演とミニコンサートが行われました。環境や国際交流について、「唐人揃い」などを話題に入れた講演とともに、珍しい楽器パンフルートの演奏が行われ参加者の緊張をほぐすことができました。

場所を移動して、14時過ぎからメインイベントの「かわごえカフェ」が、飯島さんの司会・進行で始まりました。



江藤善章さんの講演とミニコンサート



「かわごえカフェ」の全体セッション
「かわごえカフェ」のスケジュール

13:00-14:00 講演・ミニコンサート 飯島希さんの趣旨解説 江藤善章さんの講演・ミニコンサート
14:00-16:30 すみたい街 かわごえカフェ 第1ラウンド (30分) 第2ラウンド (30分) 第3ラウンド (25分) 全体セッション (25分)

かわごえカフェでは、「ワールド・カフェ」形式で3ラウンドの話し合いが行われました。テーマは、副題である「環境」「福祉」「観光」に

加え、「教育」「安全」も加えた五つの分野で、席はくじで決めました。本会会員のほかに、川越市女性団体連絡協議会、かわごえ環境推進員、川越青年会議所、川越市役所職員、大学生と多彩なメンバーが4人ずつのテーブルを囲みました。お互い自己紹介をしながら、決められたテーマで語り合いました。第2ラウンドでは、ホストを除いた3人が旅人として別のテーブルで話し合いを持ち、第3ラウンドで最初のテーブルに戻り、今までの話し合いを深めながら意見の集約を図りました。世代や仕事の違いなどを超えて、25~30分ずつ語り合うことは貴重な体験であったとの感想が寄せられました。

テーマごとに話し合いの簡単なまとめが発表されました。環境・福祉・観光・教育・安全のいずれも「人のつながり・近所づきあい・おもてなしの心」をどう育てるか、コミュニティづくりの大切さが最大公約数となりました。終わった後も三々五々話の続きを語り合う姿が見られ、企画の成功を感じました。

第3部「設立10周年記念パーティー」



設立10周年記念パーティー

17時から、設立10周年記念パーティーが39人の参加で行われました。元教育委員長で川越市女性団体連絡協議会会長の齋藤信子さんのあいさつで会は始まりました。かわごえ環境ネットへの思いと、10年の感想などを語り、創設の頃の苦労とともに、世代交代の今後の発展に希望を託して懇親会を終わりました。

なお、今後第1部と第2部についての詳細が寄稿されましたら順次掲載いたします。

(武田侃蔵・小瀬博之)